Masaharu Yoshioka's Recommended Black Music Featuring MICHAEL JACKSON

おすすめブラックミュージック フィーチャリング マイケル・ジャクソン

吉岡正晴《ソウル & ディスコサーチャー》
音楽ジャーナリスト、DJ、ブラック・ミュージック・カルチャー、ダンス・ミュージック全般に詳しい。
雑誌・新聞・インターネットなどへの寄稿の他ラジオ、テレビ出演。
1975 年以来執筆したブラック、ソウル、R&B 系ライナーノーツは 1500 枚を超える。



Charlie Chaplin
チャーリー・チャップリン



Modern Times

映画『モダン・タイムズ』(1939) の挿入歌「スマイル」。当初はインストだったが、後に歌詞が付きナット・キング・コールなどが録音、マイケルもカヴァー。チャップリンの才能を高く評価するシーンが映画『マイケル』にも登場。

1959 Released

ROOTS

Jackie Wilson
ジャッキー・ウィルソン



Higher And Higher

タイトル曲「ハイヤー・アンド・ハイヤー」は全米 R&B チャート 1 位。マイケルが憧れた R&B シンガーといえば、ジェームズ・ブラウンとこのジャッキー・ウィルソン。共に歌って踊れるシンガー。滅多にないテレビ出演にかじり付いた。

1967 Released

ROOTS

Jackie Wilson
ジャッキー・ウィルソン



Greatest Hits

ジャッキー・ウィルソンは 1957 年頃から 1970 年代初期まで長くヒットを飛ばした。モータウン創始者のベリー・ゴーディーも彼に憧れ、曲を提供していた。マイケルは 1984 年 2 月のグラミー賞授賞式でジャッキーを追悼。

1969 Released

ROOTS

James Brown
ジェイムズ・ブラウン



Papa's Got A Brand New Bag

ジェイムズ・ブラウンはマイケルが最も敬愛している“歌って、激しく踊る R&B アーティスト”。幼少の頃からジェイムズに憧れ、テレビなどで見ると、そのダンス・ステップをすっかり真似ていた。ファンクの原点の一枚。

1965.8 Released

ROOTS

Nat King Cole
ナット・キング・コール



L-O-V-E

ナット・キング・コールもマイケルの憧れの一人。コールは元々ジャズ・ピアニストだったが、弾き語りもするようになり、それが人気に。マイケルの好きな「スマイル」をカヴァー。1965 年 2 月 15 日 45 歳で死去。

1965.2 Released

ROOTS

Sam Cooke
サム・クック



Shake

マイケルが影響を受けたソウル、R&B シンガーの一人。自ら“ミスター・ソウル”を名乗る。1950 年代後半から 60 年代初期にかけてルックスと甘い歌声でマイケル並みの人気を獲得。1964 年 12 月逝去を受けてのベスト盤。

1965.1 Released

ROOTS

Diana Ross
ダイアナ・ロス



Diana Ross

ダイアナ・ロスがスプリームスのリード・シンガーからソロに独立しての第一弾アルバム。いまだにライヴで歌われる「リーチ・アウト・アンド・タッチ」「エイント・ノー・マウンテン」などを収録。

1970.6 Released

ROOTS

Sammy Davis Jr.
サミー・デイヴィス・ジュニア



Now

テレビなどで活躍していたサミー・デイヴィス Jr. は、やはり当時のブラックの人たちの間では圧倒的な人気で、マイケルもそんなファンの一人だった。サミー最大のヒット曲「キャンディ・マン」などを収録。

1972 Released

ROOTS

Stevie Wonder
スティーヴィー・ワンダー



Fulfillingness' First Finale

前作『インナーヴィジョンズ』発売直後に瀕死の重傷を負う交通事故に遭い、人生観が一変。同時に 1971 年発表作以来、自作曲アルバムを一度ここで最終章にする意味合いもあった。マイケルにクリエイティヴ面で多大な影響を与えた。

1974.7 Released

ROOTS

Jackson 5
ジャクソン5



Diana Ross Presents The Jackson 5

鳴り物入りでモータウンからメジャー・デビューを果たしたジャクソン 5 のデビュー作。モータウンが全社的に総力をあげ作りあげた作品。多くのスタッフ、プロデューサー／ライターが匿名で参加。

1969.12 Released

MOTOWN ERA

Jackson 5
ジャクソン5



ABC

前作がヒットしてからわずか半年でリリースしたジャクソン 5 としての 2 作目。この頃は音楽業界全体が半年に一枚くらいのペースでアルバムを出すことが当たり前だった。ポップでキャッチーな「ABC」が大ヒット。

1970.5 Released

MOTOWN ERA

Jackson 5
ジャクソン5



The Third Album

前作から 4 ヶ月で 3 枚目登場。ヒットを畳みかけて作り出すところがなかなか凄い。そして、シングルとしては初のバラード曲「アイル・ビー・ゼア」を放ち、アップ、スローどちらも行けることを証明した。

1970.9 Released

MOTOWN ERA

Jackson 5
ジャクソン5



Maybe Tomorrow

3 作目のあとにクリスマス・アルバムをリリースし、翌年 4 月発売。まるでシングル・ヒットを出すようなペースでアルバムを発表してきた。「アイル・ビー・ゼア」がヒットしたことで、バラード路線もここから花開く。

1971.4 Released

MOTOWN ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Got To Be There

ジャクソン 5 のリード・ボーカルとして、マイケルがメインを取るようになり、また彼の可愛さから人気が爆発したことで、グループとは別にソロ・アルバムを発売することに。次作では、映画のテーマ曲を歌い再び大ヒット。

1972.1 Released

MOTOWN ERA

■ ROOTS マイケルが影響を受けたアーティスト　■ MOTOWN ERA MOTOWN 時代のマイケル&ジャクソン 5
■ EPIC ERA EPIC 時代のマイケル&ジャクソンズ　■ LEGACY マイケルが影響を与えたアーティスト

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Ben

このアルバムに収録されている、映画のテーマ曲「ベンのテーマ」が全米 1 位になり、マイケルはソロ・シンガーとしての人気も決定的に。この時点で彼はまだ 14 歳。日本で言えば、中学 2 年か 3 年生。猛烈に忙しい日々を過ごしていた。

1972.8 Released

MOTOWN ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Music & Me

この一年余の間に 3 枚目のソロ・アルバムをリリース。このアルバムでは、マイケルが憧れたナット・キング・コールの「トゥ・ヤング」や、ジャッキー・ウィルソンの「ドギン・アラウンド」をカヴァーしている。

1973.4 Released

MOTOWN ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Forever Michael

前作から少し間が空いてのリリース。声変わりという物理的な変化もあったようだ。ただ初期のグループ・アルバム 3 枚、ソロの 3 枚までと比較すると、若干楽曲が超強力ではなくなっていた。

1975.1 Released

MOTOWN ERA

Jacksons
ジャクソンズ



The Jacksons

モータウン時代はあてがわれた楽曲を歌っていたが、大人になり自我が目覚めてくると、自作曲を作りたい欲求が高まり、エピックへレコード会社を移籍。フィラデルフィアの名プロデューサーの元で制作することに。

1976.11 Released

EPIC ERA

Jacksons
ジャクソンズ



Going Places

前作同様、フィラデルフィアのギャンブル&ハフ（ケネス・ギャンブル&レオン・ハフ）プロデュース作。この 2 作でマイケルたちはレコード作りのノウハウを貪欲に吸収。自作曲も 2 曲収録。大人のサウンドに徐々に変化した。

1977.10 Released

EPIC ERA

Jacksons
ジャクソンズ



Destiny

エピックに移籍してからの 2 作でかなり自信を付けたマイケルと兄弟たちは、この 3 作目で堂々と自分たちのサウンドを追求するように。まさにあらゆる意味で “運命” を決定付ける作品となった。

1978.10 Released

EPIC ERA

Jacksons
ジャクソンズ



Triumph

エピック 4 作目は、マイケルのソロ・アルバム『オフ・ザ・ウォール』（1979 年 8 月発売）の後押しもあり、実質的にはマイケルのレコード作りのノウハウが詰まった作品に。「ハートブレイク・ホテル」が大ヒット。

1980.10 Released

EPIC ERA

Jacksons
ジャクソンズ



Jacksons Live

前作『トライアンフ』とソロ『オフ・ザ・ウォール』が未曽有の大ヒットとなり、兄弟たちによる〈トライアンフ・ツアー〉を父親主導で敢行した。ソロ曲もちりばめ、マイケル人気に乗ったライヴ作品に。

1981.11 Released

EPIC ERA

Jacksons
ジャクソンズ



Victory

『トライアンフ』後、マイケルのソロ・アルバム『スリラー』が 1983 年一年中世界各地で大ヒットした後を受けてのジャクソンズ新作。メンバーが全員曲作りに参加。ミック・ジャガーとのコラボ曲が話題となった。

1984.7 Released

EPIC ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Soundtrack “The Wiz”

マイケルのキャリアを考える時、最大のターニングポイントとなった作品。ミュージカルの映画化『ウィズ』にマイケルが出演。この音楽をクインシー・ジョーンズが手掛けていたことから、クインシーがマイケルのプロデューサーに。

1978.10 Released

EPIC ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Off The Wall

エピック移籍して初のソロ・アルバム。クインシー・ジョーンズにプロデュースを頼み、完成。全面的に自分の思う通りに進め、非常に満足度の高いアルバムになった。しかし、グラミー賞では「アルバム賞」を取れずに失意。

1979.8 Released

EPIC ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Thriller

マイケルにとって絶対の自信作『オフ・ザ・ウォール』がグラミー賞で評価されなかったことに落胆、激怒した彼が、次作ではグラミー賞を総なめにすると意を決して作り上げた作品。見事歴史上に残る大ヒットに。

1982.11 Released

EPIC ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



BAD

前作『スリラー』が音楽業界史上最大の売り上げを記録する大ヒットとなり、約 5 年ぶりの新作。前作まではクインシー・ジョーンズの色合いが濃かったが、これは完全にマイケルが独立した形の作品となった。

1987.8 Released

EPIC ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



Dangerous

『BAD』から 4 年。クインシー・ジョーンズの元を離れ、完全自立。自身で共同プロデューサーなどを見出し、当時の R&B の最先端を行っていた若手と手を組んだ。有力コラボ者は、みなマイケルより年下となった。

1991.11 Released

EPIC ERA

Michael Jackson
マイケル・ジャクソン



History: Past, Present And Future

これまでのベストヒットを一枚の CD に、また新録による新曲を別の一枚に収録した 2 枚組（レコードは 3 枚組）。2 枚目のタイトルは「HIStory Continues」。映画『マイケル』の最後の字幕（3 語＝ His Story Continues）と重なる。この最後はチャップリンの「スマイル」。

1995.6 Released

EPIC ERA

Usher
アッシャー



Confessions

1978 年生まれのアッシャーは、文字通りマイケル・チルドレンの一人。1994 年にデビュー後、本作は 4 作目。マイケル流歌唱、踊りなどを取り入れ、マイケルより若いファンを獲得。

2004.3 Released

LEGACY

■ ROOTS マイケルが影響を受けたアーティスト　■ MOTOWN ERA MOTOWN 時代のマイケル&ジャクソン 5
■ EPIC ERA EPIC 時代のマイケル&ジャクソンズ　■ LEGACY マイケルが影響を与えたアーティスト

Usher
アッシャー



My Way

アッシャーの 2 作目。1 作目もベストセラーになったが、これも好成績を収め、一躍人気者に。そして、4 作目の『コンフェッションズ』に続いていく。その後も安定した人気を獲得。

1997.9 Released

LEGACY

New Edition
ニュー・エディション



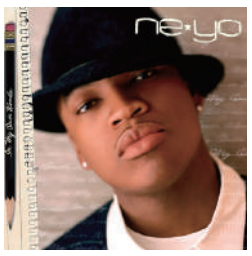
New Edition

往時のジャクソン 5 を思わせる、ボストンで結成された 10 代のキッズたちによるヴォーカル・グループ。1983 年にインディーズでデビュー後、MCA に移籍してこのアルバムをリリース。ボビー・ブラウンが登場。

1984.9 Released

LEGACY

Ne-Yo
ニーヨ



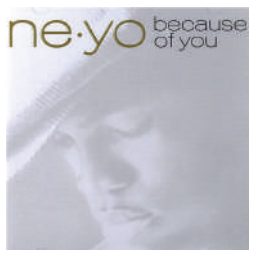
In My Own Words

1979 年マイケルの『オフ・ザ・ウォール』が発売された年に生まれた R&B シンガー。本作はまさにそのデビュー作。メロディアスな曲調がソングライターとしての才能を発揮。甘い歌声も人気に。

2006.6 Released

LEGACY

Ne-Yo
ニーヨ



Because Of You

ニーヨのデビュー作に続く第 2 弾。アルバムタイトル曲がデビュー作を超える大ヒットになり、ニーヨのシンガー・ソングライターとしての魅力が全開し、2000 年代の人気 R&B シンガーとなった。

2007.5 Released

LEGACY

Rihanna
リアーナ



Good Girl Gone Bad

1988 年カリブ海の島国バルバドス生まれの女性 R&B シンガー。レゲエ、トロピカル調の R&B を聴かせ、さらにファッション的にも若い層の支持を集め 2010 年代以降時代の寵児に。これは 3 作目。

2007.6 Released

LEGACY

Rihanna
リアーナ



Loud

『グッド・ガール・ゴーン・バッド』の 2 作後通算 5 作目。アルバムからは 7 枚のシングル・ヒットが生まれ、リアーナは超スーパースターに。ニーヨ、ティンバランドなどアメリカ R&B 界の有力プロデューサーともコラボ。

2010.11 Released

LEGACY

Bruno Mars
ブルーノ・マーズ



24K Magic

ハワイ出身のブルーノの 3 作目。よりポップ、R&B 色を強くして大ベストセラーに。ハワイでのグループ時代にマイケルやエルヴィスなどのカヴァー曲を歌っていて、マイケル曲などは物まねをするほど達者。

2016.11 Released

LEGACY

Bruno Mars
ブルーノ・マーズ



The Romantic

ブルーノの最新作。その前にアンダーソン·パークとのユニット、シルク·ソニックによるアルバムでオールド・ソウルを取り上げヒットさせていたが、この最新作はいわゆる<チカノ・ソウル>をテーマにまた大ヒット。

2026.2 Released

LEGACY

Justin Timberlake
ジャスティン・ティンバーレイク



Justified

1981 年生まれ。ボーイズ · グループ、イン · シンクのメンバーとなり、21 歳のときのソロ · デビュー作。歌って踊れるアーティストとして時代の寵児に。徐々に R&B 色を強くして来た。

2002.11 Released

LEGACY

Justin Timberlake
ジャスティン・ティンバーレイク



FutureSex/LoveSounds

『ジャスティファイド』に続く 2 作目。打ち込み系の R&B サウンドをベースに構築したサウンドは 21 世紀の R&B とも呼ばれるようになった。ラッパーらとの付き合いも多数。

2006.9 Released

LEGACY

Justin Bieber
ジャスティン・ビーバー



My World 2.0

もう一人のマイケル · チルドレン、ジャスティンは、ビーバー。1994 年生まれで、ティンバーレイクより 13 歳若い。R&B 的サウンドからより EDM 風サウンドでさらに若さをアピール。

2010.3 Released

LEGACY

The Weeknd
ザ・ウィークエンド



Beauty Behind The Madness

ウィークエンドは 1990 年カナダ · トロント生まれ。21 世紀型 R&B シンガーで楽曲の作り方や、歌唱などにマイケルの影響が垣間見られる。日本のシティポップなどにも興味を持つ。

2015.8 Released

LEGACY

Janet Jackson
ジャネット・ジャクソン



Control

1966 年生まれ。マイケルの 8 歳年下の妹。A&M と契約し、2 枚のアルバムを出した後、名プロデューサー、ジャム & ルイスと出会い本作で大ブレイク。歌って踊れる女性スターとして以後君臨。

1986.2 Released

LEGACY

Janet Jackson
ジャネット・ジャクソン



Rhythm Nation

『コントロール』の大成功を受けて発売した 4 作目。ジャム & ルイスのサウンドとジャネット本人のメッセージを入れた歌詞などが完全に融合し、傑作アルバムに。ジャム & ルイは今日まで、ジャネットを手掛けている。

1989.9 Released

LEGACY

Janet Jackson
ジャネット・ジャクソン



janet.

ジャネットの通算 5 作目アルバム。このあたりは、まさに出せば売れる時期でジャネットのハスキーな声とジャム & ルイスの機械的なサウンドが、実にいい感じで混ざりあった。

1993.5 Released

LEGACY

Ciara
シアラ



Goodies

1985 年生まれ。新人 R&B シンガーとしてのデビュー作がこれ。ポップ、R&B、ヒップホップ、エレクトロなどを縦横無尽にまたいで作るイキのいいダンス・ミュージック。ラッパーとのコラボも多い。

2004.9 Released

LEGACY